

教育長室からのお知らせ NO. 66(令和3年1月20日)



教育長 田中 庸寛

明けましておめでとうございます。

本来なら、希望に満ちた新年の幕開けとなるはずでしたが、今般の新型コロナウイルス感染拡大の中、社会全体が大きな不安と混乱を抱えてのスタートとなってしまいました。特に、年末年始の首都圏における感染者数の急激な増加を受け、あらゆる社会活動において、感染防止対策の一層の強化・徹底が要請されているところです。

本市では、児童生徒の陽性者の多くが家庭内感染であり、陽性者と同学級の児童生徒に対して実施した市のPCR検査でも陽性者は確認されておりません。しかし、本市の陽性者数も増加の一途を辿っていることから、学校・家庭・地域・行政が連携・協働し、オール市川で、なんとしても感染拡大に歯止めをかけなければなりません。

現状では、市内一斉休校は行わず、感染防止をより強化するとともに、教育活動の一部を制限しながら学びを継続してまいります。各学校・園では、授業・学校行事・部活動等の教育活動において「三密回避、マスク着用、手洗い」をより徹底することを基本に、「市ガイドライン」や「通知」に沿った感染防止策（行事等の延期・中止を含む）を講じてまいります。引き続き、教職員が一丸となり、安全・安心で信頼される学校づくりに向け、児童生徒に寄り添ったきめ細かい対応をしてまいります。

なお、今後の感染拡大状況によっては、分散登校や臨時休校等、より厳しい措置を取らざるをえない事態も想定されます。教育委員会事務局としても、あらゆる事態を想定し、関係各課が連携しながら学校支援の充実・強化に努めてまいります。

さて、「新成人の集い」が10日に開催されました。今年度は、式典会場は設けず、市長祝辞、新成人代表挨拶、教員のビデオレター等をオンライン配信しました。また、家族や友人と一緒に記念撮影ができるフォトスポット会場を市内14か所に設置しました。コロナ禍の中、多くの関係者の工夫と努力により、新成人4628名の門出を祝福することができました。市川で学び、市川で育った新成人の皆さんには、未来に向かって自らの可能性を大いに発揮していかれることを祈念するとともに、「支えられる人から支える人」として、益々のご活躍を期待したいと思います。

年度末、これから本格的な入試シーズンを迎えます。各学校では、全ての受験生が持てる実力を十分に発揮できるよう、児童生徒や保護者との意思疎通を十分に図りながら、体調管理、学習指導、事務手続き等に万全の準備をしてまいります。

年頭にあたり、次の句をご紹介します結びとします。

「去年今年（こぞことし）貫く棒の如きもの」 高浜虚子

今年も、「不易」と「流行」をしっかりと見定め、オール市川で「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を、牛歩のごとく着実に進めてまいります。